

令和８年度第Ⅰ回大阪市高齢者施策連絡会議 委員意見（集約）

No.	資料番号	該当頁	意見・質問等	回答
Ⅰ	資料Ⅰ－５ 資料Ⅰ－６	９ ３７	『とりわけ８５歳以上人口は、２０３５(令和１７)年ごろまで急激に増加し続ける推計となっており、医療と介護ニーズを併せ持つ高齢者、重度の要介護認定者、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者などの増加が見込まれています。とりわけ、頼れる身寄りがいない高齢者への支援施策の必要性が高まっています。』 とありますが、赤字下線のとおり「とりわけ」が続いており、読みづらくなっています。また太字のとおりに「頼れる身寄りがいない高齢者への支援施策」が必要性が高まっている背景がない状態で唐突に出てきますので、次の案を参考に記載を整えていただけないでしょうか。案文が長いようでしたら、青字を端折ることで、短くできるものと考えております。 <修正案> とりわけ８５歳以上人口は、２０３５(令和１７)年ごろまで急激に増加し続ける推計となっており、医療と介護ニーズを併せ持つ高齢者、重度の要介護認定者、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者などの増加が見込まれています。 大阪市の６５歳以上高齢者のいる世帯に占めるひとり暮らし高齢者世帯の割合が全都道府県・政令指定都市の中で最も高く、今後もひとり暮らし高齢者世帯が増えると見込まれる中、それに伴い、頼れる身寄りのない高齢者も増加すると想定されることから、「頼れる身寄りがない」に着目した支援施策の取組が重要となります。 ※「頼れる身寄りのない高齢者」に関する記載の表現について、初めの段落太字部分の表現が朱書きの部分の表現とは、高齢福祉課で表現のご検討いただければと考えております。	次のとおり修正します。 <修正後> とりわけ８５歳以上人口は、２０３５(令和１７)年ごろまで急激に増加し続ける推計となっており、医療と介護ニーズを併せ持つ高齢者、重度の要介護認定者、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者などの増加が見込まれています。 大阪市の６５歳以上高齢者のいる世帯に占めるひとり暮らし高齢者世帯の割合が全都道府県・政令指定都市の中で最も高く、今後もひとり暮らし高齢者世帯が増えると見込まれる中、それに伴い、頼れる身寄りがいない高齢者等も増加すると想定され、「頼れる身寄りがいない高齢者等」が抱える生活課題を各領域（高齢、障がい、生活困窮）の相談支援機関が受止め、連携しながら対応することが重要となります。